

## 第19回「21世紀のエネルギーを考えるシンポジウム」の開催について

各位

当社(社長:杉森 務)が参加する「21世紀のエネルギーを考えるシンポジウム」実行委員会は、下記のとおり題記シンポジウムを開催しますので、お知らせいたします。

東日本大震災以降、日本のエネルギーの安定的確保や環境への配慮、そして国民の省エネ意識の高まりに伴い、エネルギー効率がよく、利用段階でCO<sub>2</sub>を排出しないクリーンエネルギーとしての水素が注目されています。すでに普及段階にある家庭用燃料電池に加え、今年度内には燃料電池自動車(FCV)の販売が開始される予定です。さらに、本格的なFCV時代の到来を見据え、エネルギー事業者各社は、水素ステーションの整備を進めています。また、再生可能エネルギーやCCS(CO<sub>2</sub>の回収・貯留)と組み合わせることで、CO<sub>2</sub>フリーな水素の供給が可能になり、利活用を通じて、エネルギーの安定的確保や環境への配慮、省エネに大きく貢献します。一方、本格的な水素社会の実現に向けて、水素を安定的に供給するためには「製造」「輸送・貯蔵」「利用」の各ステージにおける課題を解決することも必要です。

今回のシンポジウムでは、“幕を開けた水素エネルギーの時代”をテーマとして、水素社会の実現に向けた政府や企業の取り組み、また解決すべき課題や水素エネルギーの未来像について、行政、学識経験者、民間企業、消費者、それぞれの立場のパネリストからご意見を伺います。

本シンポジウムは、毎年、エネルギーに関する問題をテーマとして開催し、これまで大変多くの方にご好評をいただいております。19回目となる今回も多数の皆様のご来場をお待ち申し上げます。

## 記

1. 開催日時 : 2014年11月18日(火)  
開場13時30分、開演14時00分、終了予定16時30分
2. 開催場所 : 東京国際フォーラム ホールC (東京都千代田区丸の内3-5-1)
3. テーマ : 「幕を開けた水素エネルギーの時代 ~供給インフラと新しいエネルギー社会のあり方~」
4. プログラム : (1)主催者挨拶  
木村 康 (当社代表取締役会長)  
(2)パネルディスカッション  
■パネリスト(50音順)  
伊勢 清貴 (トヨタ自動車㈱) 専務役員 技術開発本部本部長)  
上田 隆之 (経済産業省 資源エネルギー庁長官)  
斎藤 健一郎(当社 中央技術研究所 上席フェロー)  
佐々木 一成(九州大学 主幹教授)  
藤沢 久美 (シンクタンク・ソフィアバンク代表)  
■コーディネーター  
関口 博之 (NHK解説副委員長)  
※出演者に関しましては、諸事情により変更になる場合があります。
5. 主催 : 「21世紀のエネルギーを考えるシンポジウム」実行委員会  
一般財団法人日本エネルギー経済研究所、公益財団法人地球環境産業技術研究機構、  
JX日鉱日石エネルギー株式会社、株式会社NHKエンタープライズ
6. 参加料 : 無料
7. 申込方法 : ウェブサイト(<http://www.energysymposium.jp>)からお申込いただけます。

以上